

SIA エンジニアリング・カンパニー(SIAE)

戦略的パートナーシップ拡大戦略。親会社を同じくする空港運営サービス大手 SATS の世界戦略との相乗効果を期待
シンガポール | 輸送事業・サービス | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SIE:SP | REUTERS SIAE.SI

- 2025/3期1Hは、売上高が前年同期比12.1%増、営業利益が黒字転換。純利益の大半は持分法投資利益（同17.2%の58.6百万SGD）が占めた。
- 持分法投資利益は、エンジンセンターが同21%増の33百万SGD、部品センターが同9%増の22百万SGD、機体・路線メンテナンスも同60%増。
- 路線メンテナンスは8カ国の34空港に及ぶ。同じ親会社の空港運営サービス大手SATSが世界展開を強化。合弁事業の更なる多国籍化を期待。

What is the news?

11/5発表の2025/3期1H（4-9月）は、売上高が前年同期比12.1%増の5.76億SGD、営業利益が同3.3百万SGD増加の3.4百万SGD、関連会社および合弁企業からの持分法投資利益が同17.2%増の58.6百万SGD、純利益が同16.0%増の68.8百万SGD。チャンギ空港における路線メンテナンスのフライト件数が同9.3%増と伸びた。

2Q（7-9月）の四半期で見ると、売上高が同22.0%増の3.07億SGD、営業利益が前年同期の▲0.3百万SGDから2.4百万SGDへ黒字転換、持分法投資利益が同8.9%増の30.6百万SGD、純利益が同10.2%増の35.6百万SGDと堅調に推移した。

1Hの事業セグメント別の売上高は、①航空機体点検・路線メンテナンスが前期比9%増の4.35億SGD、②エンジン・部品が同22%増の1.40億SGD。また、③関連会社および合弁事業からの持分法投資利益の内訳は、エンジンセンターが同21%増の33.5百万SGD、部品センターが同9%増の22.7百万SGD、機体・路線メンテナンスが同60%増の2.4百万SGD。

How do we view this?

同社の戦略的パートナーシップのポートフォリオは8カ国にまたがり、子会社および合弁事業が24社に達する。同社、子会社、合弁会社、および関連会社の合計では、2025/3期1Hの売上高が前年同期比2.4%増の42.55億SGD。その内、①航空機体点検・路線メンテナンスが同10.3%増の4.66億SGD、②エンジン・部品が同1.4%増の37.59億SGDと、それぞれ堅調に増加。戦略的パートナーシップ拡大が成果を上げている。

同社の路線メンテナンスは8カ国の34空港に及んでいる。航空機体点検のための格納庫はシンガポールに6カ所、フィリピンに3カ所のほか、マレーシアで2H（10-3月）に2カ所が運営開始予定となっている。

筆頭株主の政府系投資会社テマセク・ホールディングス傘下には同社と同じくシンガポール航空の子会社である空港運営サービスのエスエーティーエス（SATS）があり、欧州拠点でフランス航空貨物大手のワールド・フライト・サービスズ（WFS）を2023年4月に買収。SIAエンジニアリングが戦略的パートナーシップを世界的に拡大し、合弁事業を中心とした成長拡大を図る上で優位な基盤を提供することになるだろう。

配当予想(SGD) 0.10 (予想はBloomberg)
終値(SGD) 2.40 2024/12/24

会社概要

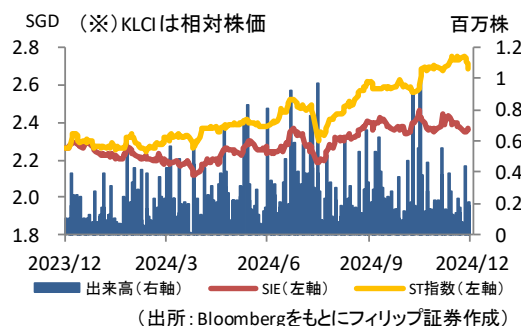
1992年にシンガポール航空のエンジニア部門から分離独立し、その子会社となったアジア有数の航空機MRO（メンテナンス、修理、オーバーホール）業者。

同社は、以下の4事業をコア事業とする。①ライン整備は7カ国30の空港で展開。②ベース整備ではシンガポール（チャンギ国際空港）に6つの格納庫、フィリピン（ルソン島のクラーク国際空港）に3つの格納庫を擁するなどグローバルMROネットワークを擁する。その他に、③部品サービス、④エンジンサービスの4事業をコア事業とする。

20以上の「装備品等基準適合証」を受けて、国際的な航空会社や航空宇宙会社に一括統合ソリューションを提供している。大型機、小型機を問わず広範なMROサービスを提供し、シンガポール・チャンギ国際空港を経由する60社以上の航空会社にライン整備サービスを提供。現在、合弁事業と子会社のMROネットワークにより、世界中の航空会社に対する統合的なMROサービスとネットワーク・サポートの範囲を拡大している。

会社データ(2024/12/25)

ベータ値 0.79
時価総額(百万SGD) 2,686
企業価値=EV(百万SGD) 2,308
3か月平均売買代金(百万SGD) 0.6



主要株主(2024/12)

(%)
1. テマセク・ホールディングス 77.74
2. VANGUARD GROUP 0.83
3. プラックロック 0.71

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

業績推移

※参考レート 1SGD=115.6円

事業年度	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3F	2026/3F
売上高(百万SGD)	566	795	1,094	1,206	1,274
当期利益(百万SGD)	67	66	97	143	155
EPS(SGD)	0.06	0.06	0.09	0.10	0.10
PER(倍)	39.85	35.81	21.26	25.00	23.08
BPS(SGD)	1.44	1.49	1.50	1.56	1.60
PBR(倍)	1.67	1.42	1.22	1.54	1.50
配当(SGD)	0.00	0.06	0.08	0.10	0.11
配当利回り(%)	0.00	2.61	4.37	3.96	4.58

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。